

大阪城

2021
6/7
(月)
14/7/
号

全港湾
西成分長

204
6647-
4947

時の権力者・教会の法王たちがだまるとい
しゃべれば半年にぶちこむぞ！殺すぞ！と
おどされたも「それでも地球は動いてる」とた
というガリレオの話は有名である。

ウイルス対策分科会その尾身会長が「ミニミニさ
6/2逃」今の状況でオリンピックをやるのは、

普通はない」と国会でしゃべったことが自民
政府の怒りをかかっていることが報道されている。

尾身会長といえば、今までノラリクワリと
付度科学者を演じていたように見えている。

しかし、7/23から始まり8/8に終われば、尾身会長ら
科学者や専門家たちがの発言や行動の評価は
オリンピックやその後のウイルスの状況で、

自然にキマってくる。オレはいつといたぞ！と
しかたない。科学者としては、全く信用を失う

だろう。政治家たちは、責任のなげは、おこのもの
で、とくに選挙で再選でもされたら、知らんで
通すのだろうが、真理、真実、追求、を問うたの

科学者は、信用を失うことにもなる。
そんなことも含め、もうひつかえしがきかない。そして
オリンピックの大変な居かはじまっている。

